

ひがし

議会だより

No.31

2017.10.16

発行編集：日之影町議会報編集委員会

伝統を受け継ぐ！



| | | |
|------------|-------|-------|
| 平成28年度決算書 | | P2 |
| 一 般 質 問 | | P6~P7 |
| 平成29年度補正予算 | | P8 |
| 意 見 交 換 会 | | P10 |

9月定例議会

第3回定例会は、8月31日に開会し、常任委員会の所管事務調査報告・報告2件・認定8件・議案8件・意見書1件、議長発議2件は原案のとおり可決しました。一般質問には4名が登壇し、町長・教育長に質問、9月15日に閉会しました。

予算は適正に効率的に使われたのか？

「平成28年度一般会計決算」

(歳入合計) (歳出合計) (差引額)
51億9,919万円-51億1,893万円=8,026万円

差引額の内訳

| | |
|------------|---------|
| ◆公共事業等の繰越分 | 4,305万円 |
| ◆決算積立金 | 1,900万円 |
| ◆翌年度繰越金 | 1,821万円 |

* (歳出合計額の内から公共施設等の整備基金へ約4,000万円繰り入れ済み) 28年度末に於ける基金の保有高は、約35億円です。

特別会計決算概要書

| 会計名 | 歳入合計 | 歳出合計 | 差引額 |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 病院会計 | 6億2,769万円 | 6億1,386万円 | 1,383万円 |
| 国民健康保険 | 8億3,052万円 | 7億8,111万円 | 4,941万円 |
| 簡易水道 | 7,747万円 | 7,617万円 | 130万円 |
| 奨学資金 | 1,140万円 | 1,140万円 | 0万円 |
| 農業集落排水 | 1,344万円 | 1,308万円 | 36万円 |
| 介護保険 | 6億6,183万円 | 6億5,311万円 | 872万円 |
| 後期高齢者医療 | 5,479万円 | 5,474万円 | 5万円 |

平成28年度一般会計・特別会計の8議案の決算は、二日間の日程で、各課ごとの事業・決算が趣旨と目的に従って適正に、そして効率的に執行されたかどうか質疑を交え詳細にわたり審査いたしました。

決算審査委員長報告書

委員長 河野 學

平成28年度の施策執行については、限られた予算の中、第5次長期総合整備計画や、辺地に係る公共的施設の総合計画に基づき、審査した結果、各課が所管する事業の実績については、概ね評価できる。

中でも農業法人「ひのかげアグリファーム」の設立オープンについては、小さな町の大きな挑戦であり、町民の関心も高い。将来を見込んだ先進的な取り組みで、耕作放棄地の解消や、高齢化の進む農家の負担軽減、後継者の育成等その期待も大きい。今後、皆の英知を結集して、我が町における地方創生のシンボルとして成功に導かねばならない。

また、地方創生事業については、人口減対策や、起業誘致による地域活性化等、重要案件を抱える事業である。移住定住対象者の多様なニーズを把握し、Uターンを中心に積極的な対策を講ずるべきである。企業誘致は、非常に厳しい現状にあるが、その可能性を常に探究しつつ、より内発的な地域活性化策の事業展開に向けて、創造性に富んだ旺盛な努力を求めるものである。

特別会計7件については、病院事業をはじめ、各会計に於ける諸処の課題解決に向けて、更なる検証を望むものである。

以上、8議案については、本会議で可決すべきものと決定しました。

■ 監査意見書 (抜粋) ■

平成28年度一般会計決算について、歳入については厳しい状況ではあるが、自主財源である町税は1・2%の増、ふるさと納税については255・5%の増となっており、財源確保への努力が伺える。歳出については、各種事業も着実に実施され、新たに農業法人「ひのかげアグリファーム」が設立されたところである。今後、本町の農業振興に大いに寄与することを期待するものである。

【指摘事項】

- 委託料等の対前年度比較による内容の精査。
 - 請求書について項目が明確でないものが見受けられる。
 - 事務処理等について、支払い遅延が見受けられる。
 - 一部の施設の清掃委託料等の口座振込みについて、払い込み通知を検討のこと。
 - 土地の借地料について、見直し等を検討すること。
- #### 【病院事業について】
- 医師と看護師、並びに医師間の連携の推進。
 - 接遇研修の継続。
 - 西臼杵三町での広域化の推進。
 - 過年度未収金の整理と返済計画の検討。
 - 病院経営状況についての情報の共有化。

「平成28年度施策執行の主なもの」



- 町政施行65周年記念大会の開催
- 「世界農業遺産」の認定を受ける
- 農業法人「ひのかげアグリファーム」の設立
- 「出産祝い金」の支給を開始
(1・2子5万 3子10万 4子20万)



- 「地域村おこし協力隊」による買い物支援
- 「日之影町ふるさと起業応援事業」
(10件)
- ひのかげ就農奨励金事業
(一人100万円)
- 地元産農産物を使い、「食育」の推進



- 「公費負担による学習塾」の開催
- のぞみ工房の就労継続支援事業
- 消防ポンプ自動車一台の新規導入
(3台体制)
- 奨学支援制度」の改正
(入学時の一時金貸付制度)
(定住者の返済免除制度)

総括質疑

【総務文教常任委員会】

◆「限られた財源の重点的・効率的配分観点から財政状況の総括と分析」について伺う。

町長 出産祝い金の創設（株）ひのかげアグリファームの設立・新規就農者への支援等を行い各関係の協力のもと達成できた。

◆「高齢者福祉と町民の健康づくりの推進」について伺う。

町長 買い物物支援を通じて人と会う・人と会話をする等高齢者に寄り添うことが出来た。更に地域包括支援センターに於いては昨年より8000件増の4,500件の相談が寄せられ地域に果たす役割は益々重要になってくると考える。

◆「出産・子育て環境の整備と教育の充実」について伺う。

町長 子育て応援基金を活用し13名の新生児から中学生までの医療費の助成・給食費の半額補助を実施した。若いお母さんの集う場所「子ども広場」「子育てサークル」を充実させ日影で育てやすい環境整備に努めた。

◆「参画・共同の推進とコミュニティの育成」について伺う。

町長 地域活性化に向けては女性の活躍は不可欠である。今年4月に男女共同推進条例を制定した。「いきいきサロン」「麦ついで会」等とも連携し推進する。

【経済建設常任委員会】

◆農業基盤整備の現状と、共同利用機械の導入、共同利用倉庫の整備の成果は？

町長 中山間地等直接支払い制度、多面的機能制度の事業を活用し農地整備を行なってきた。共同利用については、集落営農支援事業（6地区）で対応した。それ以外については、「ひのかげアグリファーム」と連携し対応していく。

◆森林セラピー基地のブランド確立のための基盤整備、情報発信の成果は？

町長 熊本地震の影響で一時ツアー参加者が減っていたが、徐々に回復しつつある。森の案内人にも新たに8人の応募があり、今後、癒しを生かして活性化に繋げていく。

◆有害鳥獣対策については、一定の成果は上がっているが、未だに被害が多い。対策は？

町長 今日まで、5名の捕獲班で行ってきたが、継続することが大事なので引き続き取り組んでいく。

◆林業振興について、事業者の高性能林業機械の支援の成果は？

町長 一定の成果は上がったと思う。今後は、造林と間伐の推進が、大きな課題と思う。

◆町道と集落道の整備の現状について伺う。

町長 現在266路線の町道があり、改良率31・5％・舗装率67・5％の実績である。高額を必要とする路線が多いため、計画どおりにはいかないが、継続して整備していく。

◆畜産の振興における非常時の防疫対策について伺う。

町長 現在、和牛農家161軒、ブロイラー農家2軒、愛玩鳥40軒である。県が行う防疫事業を踏まえ、敏速に対応していく。



飯干 静香
議員

《行政と地域の連携は》



《第33回町民のつどいの様子》

問 毎月配布される町広報等書類一式が遅くとも3日以内に各家庭への配布状況把握はできているか。

町長 事務連絡員会議また15日の配布時にスムーズに配布されるよう口頭でお願いしていく。

問 諸行事が重ならないための対策は。

町長 行政・学校・各種委員会・社会福祉協議会・地域の主な行事を把握しながら調整していく。

「町行事の参加拡大は」

問 第8回を迎える「宮崎県市町村駅伝大会」の参加応援の拡大は。

教育長 広報等掲載・IP放送・スポーツ関係者・学校などに幅広い呼びかけを引き続き努力していく。

問 1月・2月は教育委員会主催の行事が目白押しだが、日程内容の調整及び「新春少年の主張発表大会」をもっと多くの参加と聴衆をしていただくための策、更に第34回を迎える「町民のつどい」の行政としての役割は。

教育長 いずれも広報等掲載・IP放送・チラシなどのこまめな情報提供、早期周知を図るための対策をしていく。
高齢者のための椅子増設・洋式トイレ・交通手段の対応に努めた。今後若者に参加していただくためにも「託児所」開設を前向きに検討していく。
諸々の件については、実行委員会と共に、内容・参加手法等について検討していく。



甲斐 睦彦
議員

《「安心安全な町づくり」に向けて》

◆本年度策定された「日之影町地域防災計画」に基づき、有事の際に即行させる為の町長の考えを伺う。

町長 防災知識の普及、啓発を図る為に公民館単位で行い、災害時の状況を想定した実践的な訓練及び講習を定期的、継続的に実施し、日常生活に密着した啓発活動を行って行く。

◆災害ゴミの処理をどう考えるか伺う。

町長 災害ゴミ処理については「災害廃棄物処理実施計画」にそって処理を行うことになり、一時保管場所については、諸情勢を考慮したうえで選定することが必要である。マンパワー不足については宮

崎県市町村防災総合応援協定に基づき、県内の自治体に必要に応じて応援を要請してまいります。

「民族資料室」の更なる活用は。

問 保管されている展示物は「考古・民族・歴史」を表す日之影の財産である。その活用が疑問でありもつたいたいと感じるが教育長の見解を伺う。

教育長 町民に広く町有文化財に触れて戴くことを念頭に開設した。開設以来「公民館研究セミナー」「高齢者教室」など多様な団体からの見学がある。更には町内小中学校に対し学習案内を行うなど利用促進を図っているとこである。

問 決算審査の中でもその活用が疑問視された。各課との連携により観光の一役を担う考えは無いか。

教育長 「世界農業遺産認定登録」や「ユネスコエコパーク認定」など本町に於いてはグローバルブランドを手にしたところである。今後は各課との連携を図り観光行政にも繋げるようにする。

HONOKACHI CIKAI DAIYORI



一水 輝明
議員

《「日之影神楽」県無形民俗文化財になる！》



《鈿女命と男力男命》

◆県文化財保護審議会は「日之影神楽」を新たに県指定文化財とするよう教育委員会に答申し、無形民俗文化財に認定された。伝統ある神楽の保存の必要性和保存会の支援策について伺う。

問 神楽保存会の活動状況と課題は？

教育長 町内27集落の保存会で結成され、年一回の「神楽まつり」

を、開催している。課題は、後継者不足等や、8保存会が休止中であることから、奉仕者を地域外に求めるなどその対策に努めていく。

問 文化財認定後の新たな取り組みは？

教育長 文化庁ホームページへの登載や県の助成事業、優先的に採択される事業もあるので、県及び関係機関と連携を密にし、取り組んでいく。

問 世界農業遺産との連携は？

教育長 本年度より、伝統文化・工芸活動支援として、世界農業遺産を含めてPRできる取り組みについても助成をする事業が拡充されるので、「神楽まつり」に活用できないか検討していく。

問 町内の神社、個人で奉られていた神楽面の写真集の作成も保存の一つと思うが？

教育長 協力が得られれば検討していく。



甲斐 健司
議員

《日之影町の次なる創生は？》



《収穫をむかえる栗園》

問 平成27年度より開始の日之影町地域創生総合戦略に基づく事業の評価を伺う。

町長 本町の人口が年間80人位減少していく予想であったが、28年度は57人にとどまり、社会動態が32人の増加へと転じた。又、28年度事業開始の「ひのかげアグリファーム」の設立により3名を雇用し、子育てや退職者世帯の転入が27年度は9世帯、28年度は8世帯であった。未だ成果が上がっていない分野があるので課題など再検証を行い、総合戦略の変更作業を行いたいと考えている。課題については創生交付金が減少し、事業採択の要件も厳しくなっている事をふまえ、創生に関する自治体の裁量により、ある程度自由に使える予算措置、長い目で捉えた支援等を打ち出して欲しいと要望しているところです。

「農業の振興について」

問 本町も県の農業生産工程管理の制度化に合わせて、小規模農家農産物を販売する為に、本町独自の認証制度が必要と考えるが町長の見解を伺う。

町長 JAS等有機認証を取得するにはハードルが高すぎるので、今後、検討し進めていく必要があると考える。

尾藪工場内に育苗施設を整備!

平成29年度日之影町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出補正 7,047万円の追加
補正後の総額 47億197万円

歳出の主なもの



◆ 総務費

(新庁舎基本設計・税番号システム整備等)

※設計委託料・マイナンバーカードを使い易く
する為。

1,821万円の追加

(定住促進空き家改修等事業補助金)

※同居を目的に新築・増改築の費用を一部助成

100万円の追加

◆ 民生費

(国保特別会計繰出金等)

※国保繰出金・システム改修委託料等

562万円の追加

(保健衛生総務人件費)

※妊婦検診・新生児聴覚検査などの扶助費

30万円の追加

◆ 農林水産業費

(中山間地域農業年収アップ支援事業)

※「ひのかげアグリファーム」育苗施設事業等
への補助

2,197万円の追加

◆ 商工費

(温泉設備修繕事業費等)

※20年経過したボイラーの入れ替え等

1,275万円の追加

◆ 土木費

(道路新設・住宅の修繕等)

※町民センター裏側の通学路の改修等

504万円の追加

九州管内所管事務調査報告書

■ 期日：平成29年8月22日～23日

総務文教常任委員会

【場所】福岡県田川郡川崎町

【内容】議会基本条例に於ける

議会改革

川崎町は、人口17,263人の歴史と自然に恵まれた農業と観光の町です。今回は、議会改革の取り組みと、条例制定後の議会運営について調査をしました。平成26年度に、「議会の会期を通年とする」と規定し、通年議会がスタートした。

1、議長の判断で、いつでも本会議を召集できる。

2、本会議の開会日を規定すること、予定が立てやすい。

3、委員会活動が活発になり、住民の議会に対する評価が向上した。

この他、執行部が策定する計画の中に、議会の意向が反映されるようになったとの事である。改革の本質は、町民ファーストを基本にして、町民からの信頼を得ている必要があるとの報告

でした。

本町においても、何らかの議会改革の必要性を感じ、町民に開かれた、町民参加型の議会活動を更に、展開する必要性を痛感した。



経済建設常任委員会

【場所】大分県中津市

【内容】公益法人「農業公社や

まくに」

この公社は、平成15年中津市と農協が出資し設立した。常時

10名、臨時3名の職員で運営されており主な事業は、農地利用集積円滑化、農作業受託、担い手育成など公共施設等管理運営に関する事業を行なってきた。

平成26年8月、農業生産法人要件適格承認を受け、(株)農業法人「やまくに」となる。施設面積は、約530アール、広大な施設内には、大型機械が導入されその大きさに驚く。また、堆肥センターの稼働から11年が経過、地元の土作りの普及、安心安全な農作物の栽培に取り組み、後継者の育成にも力を入れている。

【場所】熊本県小国町

【内容】木魂館 バイオマスボ

イラー

今回は二度目の訪問となる。

「薪焚き温水木質ボイラー」は、本町と同じ機種ということもあり、現状調査を行なう。特徴は、地域通貨(モリ券千円)を使い有効期限は半年、期限内であれば町内の飲食店、商店、温泉な

ど約80店舗の加盟店で使用可能となる。そして何よりも、間伐材の有効利用で山もきれいになり、小遣い稼ぎにと、喜ばれている。今まで重油代450万円だったのが、28年度は91万円に削減、新代170万円合わせても約180万円のマイナスとなったことは大きい。また、同敷地内にある学びの里は、(泊まる、学ぶ、食べる、温泉)学習と交流の場として、地元になぎな経済効果をもたらしていた。



意見交換会

今回は女性団体との意見交換を福祉館にて行いました。

当日は、商工会女性部（14名）
公民館女性部（13名） J A 女性部（4名） 麦つっじの会（3名）の参加があり、各女性部事の問題や要望などの提言がありました。中でも庁舎建設については感心が高く、女性ならではの視点、発想による多くの貴重なご意見があり、今までにない意見交換となりました。

後日、商工会女性部の要望で「日之影町の青写真について、どんな日之影であって欲しいか」をテーマに再度行いました。これからの町づくりには、女性の参加は必須だと、改めて感じました。

多くのご参加ありがとうございました。



【各種女性団体】



【商工会女性部】

議会傍聴のご案内

次回の定例会は12月です。皆様の傍聴を心からお待ちしております。また、議会に対するご意見等お聞かせ下さい。

♣お問い合わせ 議会事務局 ☎87-3908

編集後記

まだまだこれから油断できませんが、台風18号は町内に大きな被害もなく、一安心したところです。いよいよ秋本番です。同時にイノシシ、シカ等の戦いも本格化します。

一方、国政も急展開があり、浜谷まつりにも影響がありそうです。あわたたしくなりますが、お互い農作業の事故等に十分気をつけられて、笑顔で収穫の秋が終わえることができるよう願っています。

杉本 道生



発行責任者

議長 杉本道生

議会報編集委員

委員長 一水輝明
副委員長 甲斐睦彦
委員 佐保満男
委員 河野學